2022年度 日本工学院専門学校											
音響芸術科											
映像音響3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	広瀬 眞之・海野 崇彬			実務 経験	有	職種	ミュージシャン/デザイナー				
担当教員紹介											
<p>ジャズギタリスト、コンポーザー。1979年にCBSソニーからレコードデビュー。1989～90年渡米。帰国後はDAW分野でも活動を始めナンジャタウン音楽、TV番組音楽などを制作。近年はcotoricoプロジェクトや自社レーベル運営などプロデューサー活動も多い。著書に“ジャズ100年史”“Professional MIDI Tips100”など。映像制作やデザイン制作において10年以上の実務経験を持つ。</p>											
授業概要											
<p>マルチエンタテインメントとして大発展を遂げた映像制作における「音響」即ち「サウンドトラック」というものへの理解を深めるために、時系列的にその登場と発展を検証し、その技術的・テクノロジー的な開発発展を把握。あくまでも制作者側の視点から分析把握を行っていく。Illustrator/Photoshop/Premiere/AfterEffectsといったツールを用い、実際に映像やデザインに挑戦する。</p>											
到達目標											
<p>近年のVRの発展とともにサウンドもサラウンドでの制作が必要不可欠になりつつある。そこへ繋がる過去・現在をしっかりと把握してこれからの大転換期にむけて対応できる感性と想像力を培うことを目標とする。ソフトウェアの操作方法を学ぶだけでなく、オリジナリティ溢れるものづくりができるようになる。</p>											
授業方法											
<p>本講義はオンデマンド及び対面形式にて講義を行う。オンデマンド講義視聴後は必ず課題の提出を行う事。</p>											
成績評価方法											
試験	80% 試験を総合的に評価する										
課題	20% 課題の提出を評価する										
履修上の注意											
<p>課題の提出は期限厳守にて提出をすること。課題の未提出及び理由のない課題提出の遅れは欠席扱いとする。尚、授業時数の4分の3以上出席していない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
<p>参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	サウンドトラックの世界その1～映画がしゃべった										
第2回	サウンドトラックの世界その2～シンクしなけりゃ意味がない										
第3回	サウンドトラックの世界その3～シンクは続くよどこまでも										
第4回	サウンドトラックの世界その4～音楽と映像のコラボ世界										
第5回	サウンドトラックの世界その5～SF革命										

2022年度 日本工学院専門学校	
音響芸術科	
映像音響3	
第6回	サウンドトラックの世界その6～楽曲のイメージ戦略
第7回	サウンドトラックの世界その7～たかがS.E. されどS.E.
第8回	オリジナルグッズを作ろう①(Illustrator/Photoshop)
第9回	オリジナルグッズを作ろう②(Illustrator/Photoshop)
第10回	オリジナルグッズを作ろう③(Illustrator/Photoshop)
第11回	オリジナルグッズを作ろう④(Illustrator/Photoshop)
第12回	VJ作品を作ろう(Premiere)①
第13回	VJ作品を作ろう(Premiere)②
第14回	VJ作品を作ろう(Premiere)③
第15回	工学院のイメージビデオを作ろう(Premiere/AfterEffects)